

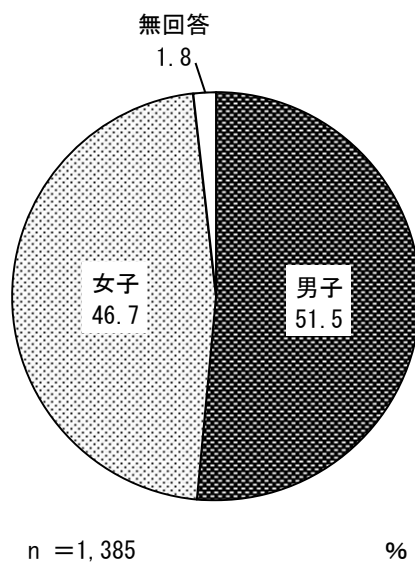
【 4 区立公立中学校 2 年生男女】

【4 区立公立中学校2年生男女】

(1) あなた自身について

① 性別

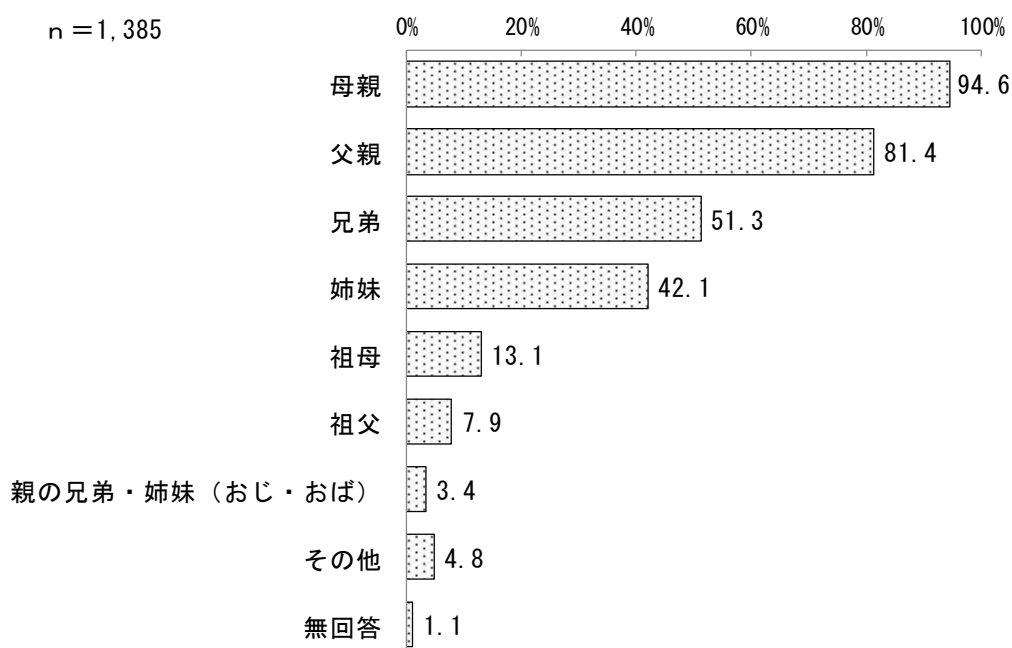
F 1 性別



② 一緒に住んでいる人

F 2 一緒に住んでいる人

n = 1,385



(2) 家庭での生活について

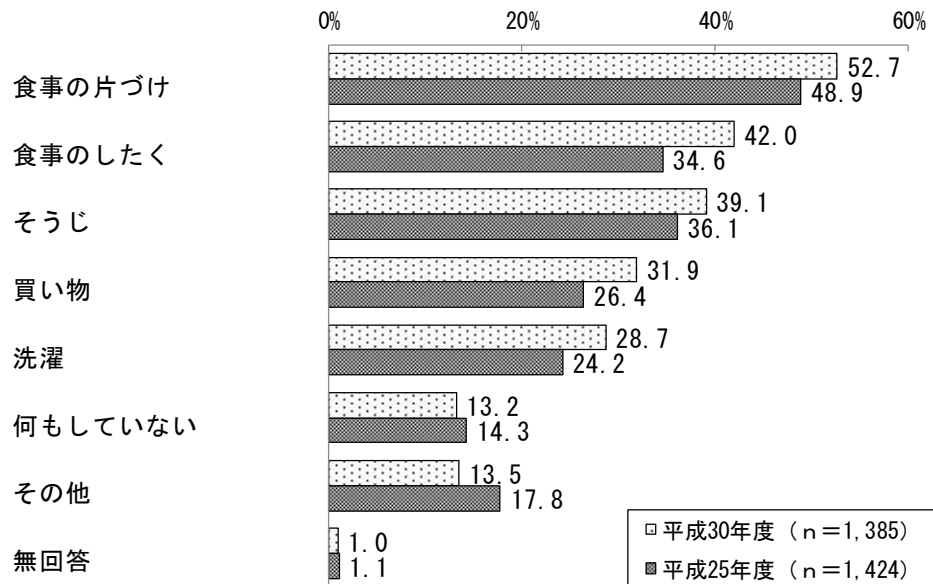
① 家でしている仕事

問1 あなたが家でしている、あるいはすることがある手伝いは何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

家でしている、あるいはすることがある仕事を聞いたところ、「食事の片づけ」(52.7%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「食事のしたく」(42.0%)、「そうじ」(39.1%)となっている。一方、「何もしていない」(13.2%)は1割を超えている。

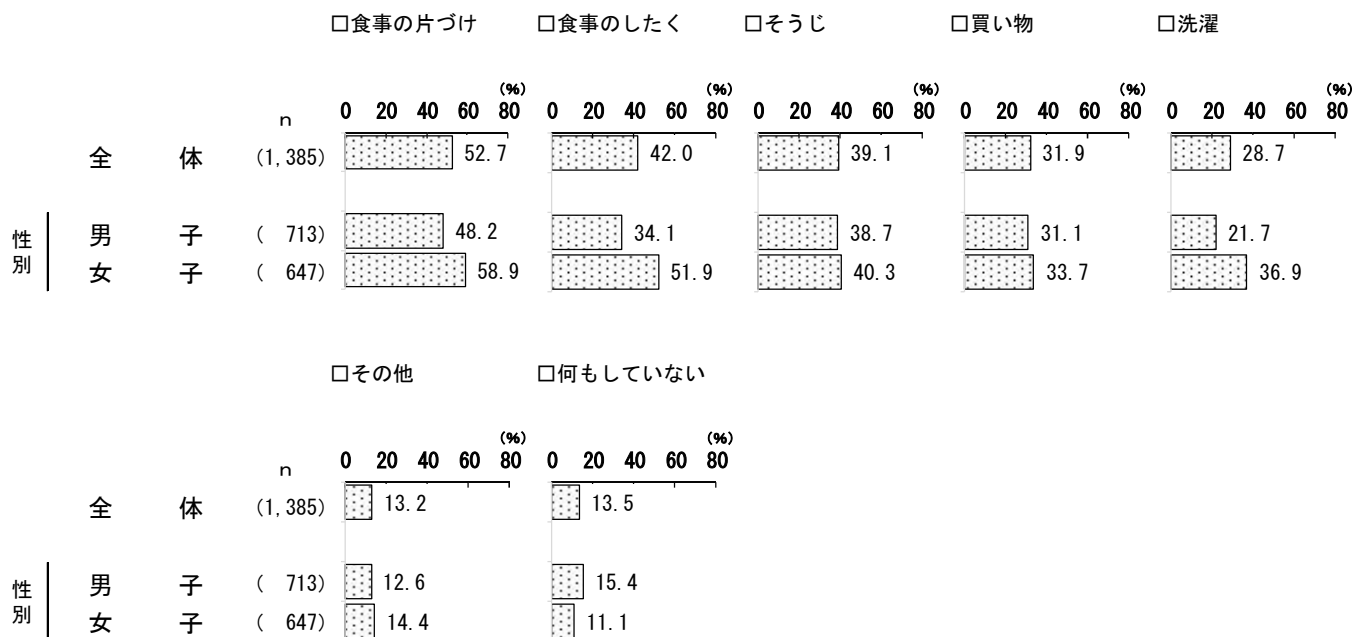
前回調査と比較すると、「食事のしたく」が7.4ポイント増加している。一方、「何もしていない」は1.1ポイント減少している。

図表4-1-1 家でしている仕事—過年度比較



性別でみると、すべての項目で女子が男子より割合が高くなっている。

図表4-1-2 家でしている仕事-性別



■家で手伝いをしていると回答した割合は男子よりも女子の方が高く、特に「食事の片づけ」「食事のしたく」「洗濯」で女子の方が男子よりも10ポイント以上高くなっている。

(3) 学校での生活について

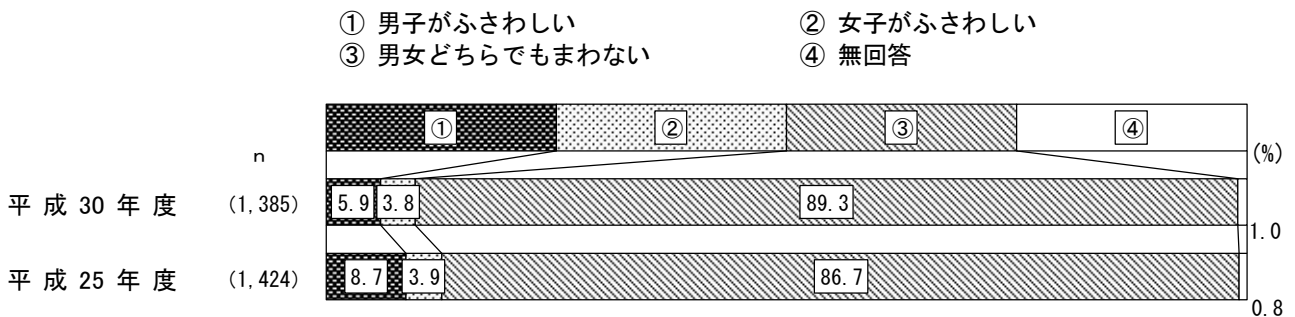
① リーダーにふさわしいと思う人

問2 リーダー（生徒会の会長やいろいろな委員会、係の責任者など）にふさわしいとあなたが思う人についてお聞きします。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

リーダーにふさわしいと思う人を聞いたところ、「男女どちらでもかまわない」（89.3%）がほぼ9割と最も高くなっている。次いで、「男子がふさわしい」（5.9%）、「女子がふさわしい」（3.8%）となっている。

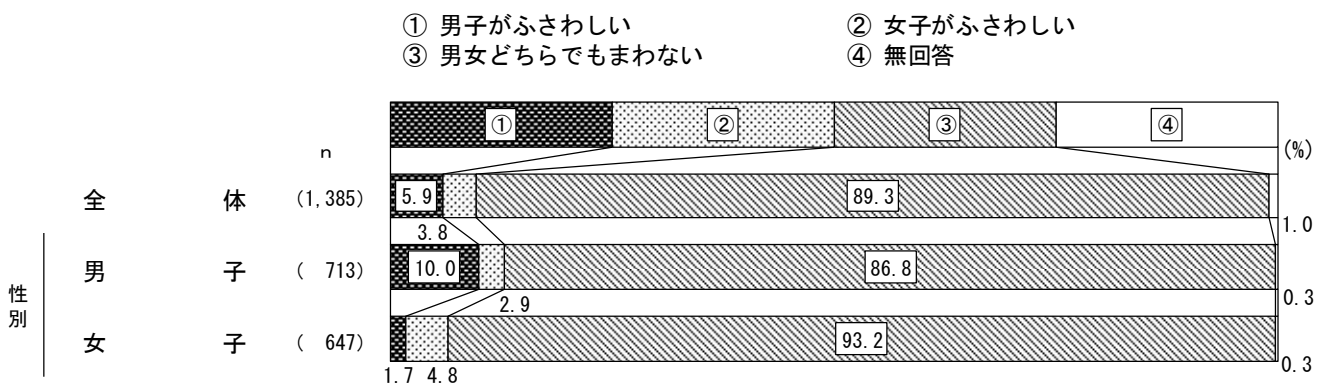
前回調査との比較で見ると、「男女どちらでもかまわない」は2.6ポイント増加し、「男子がふさわしい」は2.8ポイント減少している。

図表4-2-1 リーダーにふさわしいと思う人—過年度比較



性別で見ると、「男女どちらでもかまわない」は女子が男子より6.4ポイント高くなっている。

図表4-2-2 リーダーにふさわしいと思う人—性別



■ 「男女どちらでもかまわない」が最も割合の高い回答だが、男子では「男子がふさわしい」、女子では「女子がふさわしい」の方がそれぞれ高いという結果も出ている。

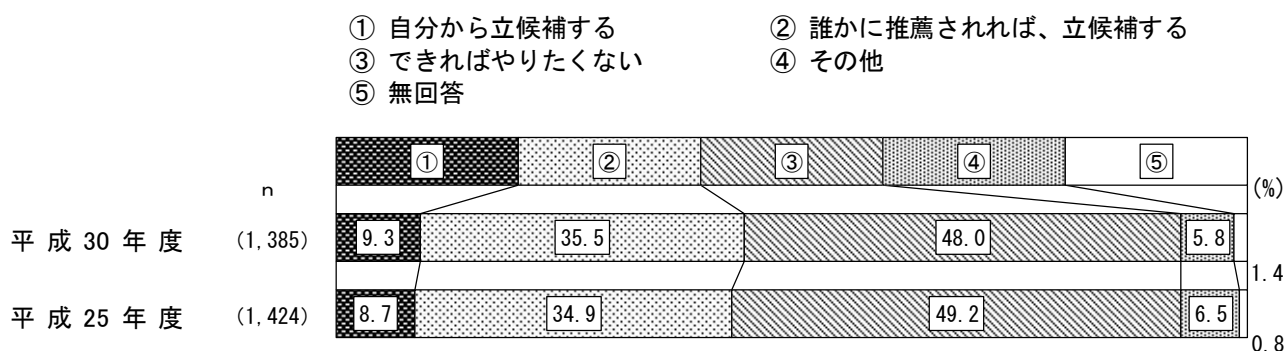
② クラスのリーダーを決めるとき

問3 クラスのリーダーを決めるときに、あなたはどうしますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

クラスリーダーを決めるときにどうするか聞いたところ、「できればやりたくない」(48.0%)が5割近くと最も高くなっている。次いで、「誰かに推薦されれば、立候補する」(35.5%)、「自分から立候補する」(9.3%)となっている。

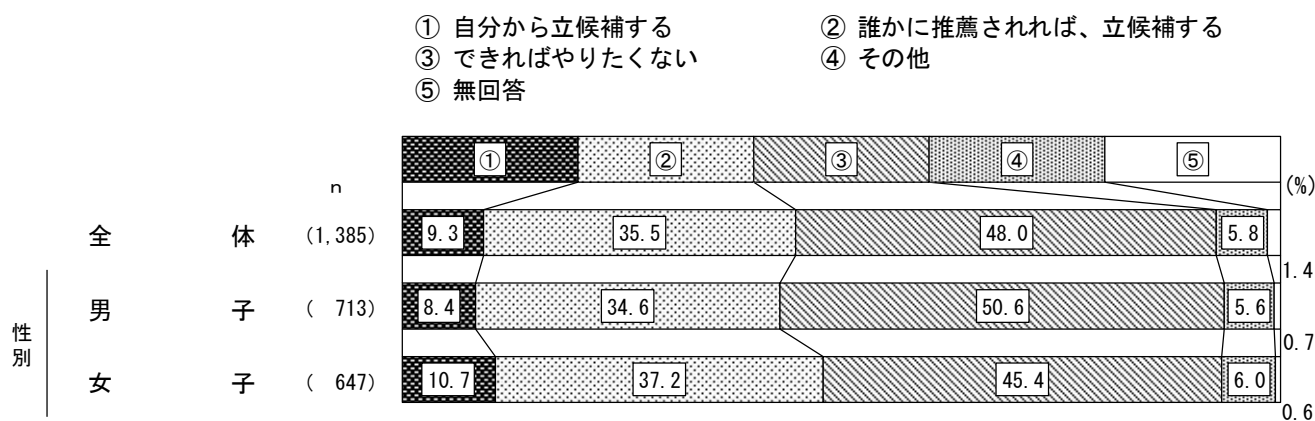
前回調査と比較すると、大きな違いはみられない。

図表4-3-1 クラスのリーダーを決めるときー過年度比較



性別でみると、「自分から立候補する」は女子が男子より2.3ポイント高くなっている。

図表4-3-2 クラスのリーダーを決めるときー性別



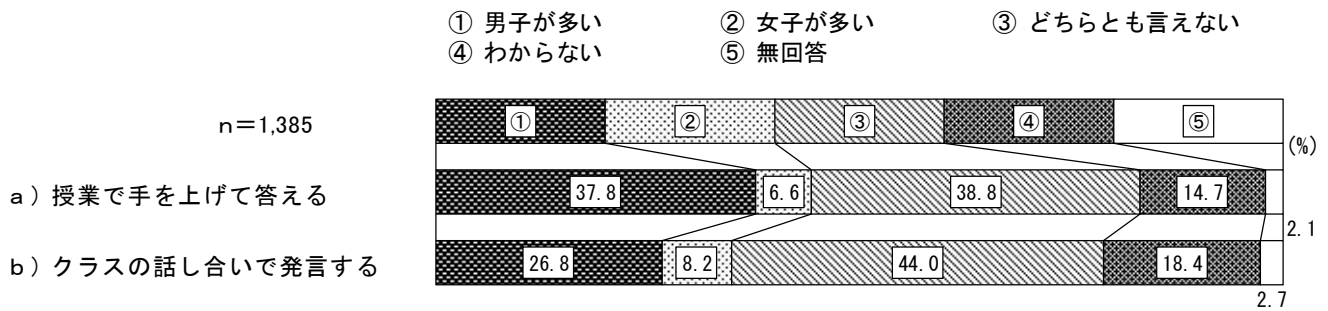
■自薦・他薦ともに女子の方が高い割合となっており、女性がリーダーを目指すという意識が根付きつつあることが伺える。

③ クラスの様子

問4 あなたのクラスの様子について、あてはまる番号に1つ○をつけてください。

クラスの様子について聞いたところ、“a 授業で手を上げて答える”では「どちらとも言えない」(38.8%)、「男子が多い」(37.8%)が4割近くと高く、「女子が多い」は6.6%となっている。また、“b クラスの話し合いで発言する”では「男子が多い」(26.8%)が3割近く、「女子が多い」は8.2%となっており、「どちらとも言えない」(44.0%)が4割半ばと最も高くなっている。

図表4-4-2 クラスの様子

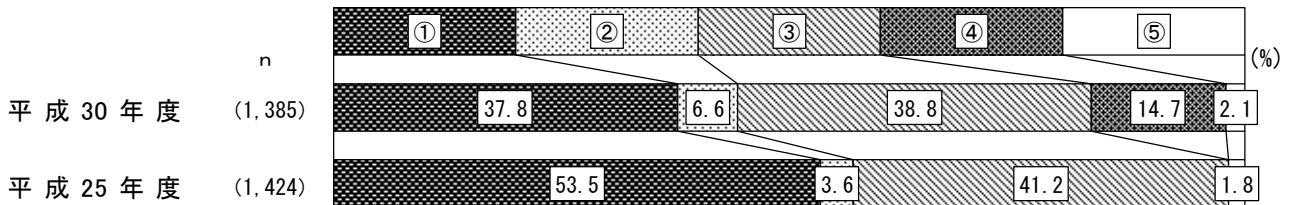


【a 授業で手を上げて答える】

前回調査と比較すると、“a 授業で手を上げて答える”は「男子が多い」が15.7ポイント減少している。

図表 4-4-2 クラスの様子 (a) - 過年度比較

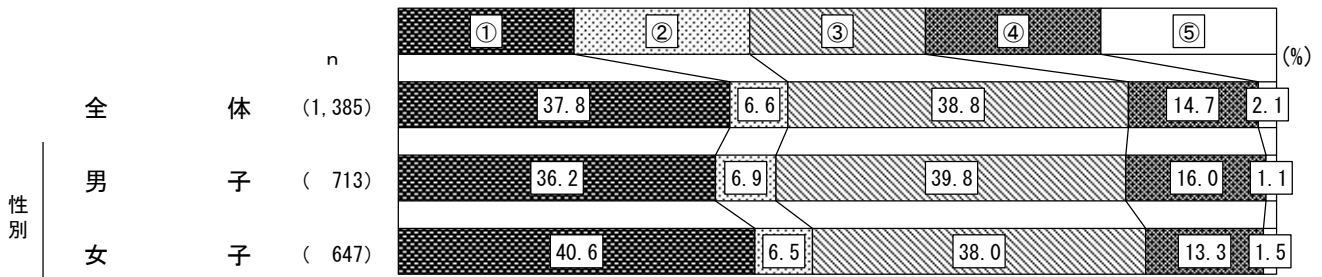
- ① 男子が多い ② 女子が多い ③ どちらとも言えない
- ④ わからない ⑤ 無回答



性別で見ると、“a 授業で手を上げて答える”では「男子が多い」は女子が男子より4.4ポイント高い。

図表 4-4-3 クラスの様子 (a) - 性別

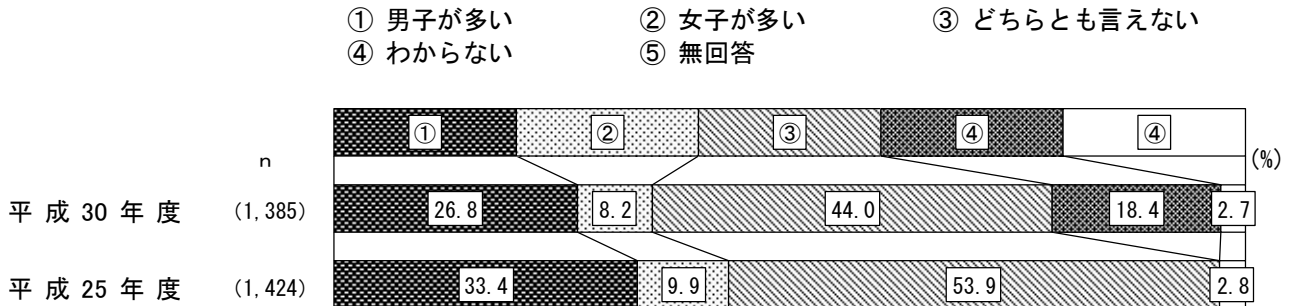
- ① 男子が多い ② 女子が多い ③ どちらとも言えない
- ④ わからない ⑤ 無回答



【b クラスの話し合いで発言する】

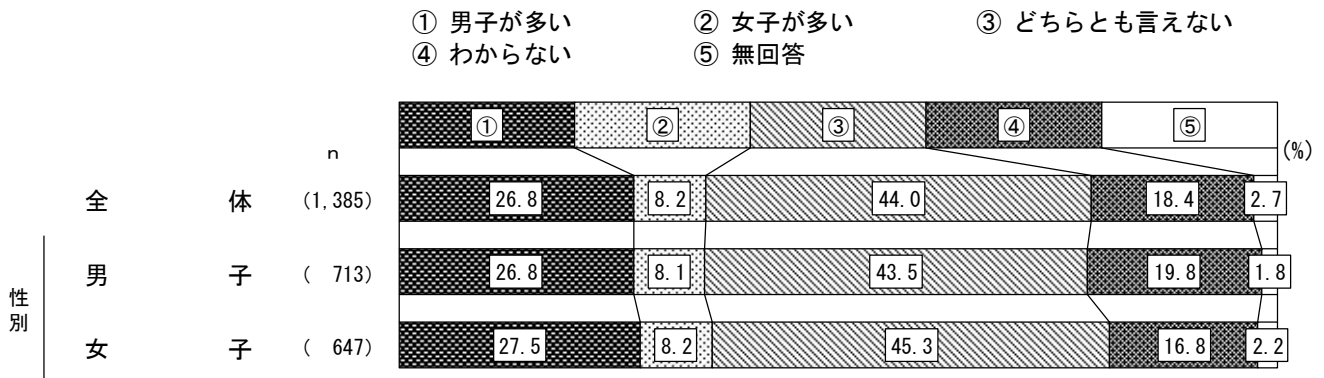
前回調査と比較すると、“b クラスの話し合いで発言する”は「男子が多い」が6.6ポイント減少している。

図表 4-4-4 クラスの様子 (b) - 過年度比較



性別で見ると、“b クラスの話し合いで発言する”では大きな違いはみられない。

図表 4-4-5 クラスの様子 (b) - 性別



■ “a 授業で手を上げて答える”、“b クラスの話し合いで発言する”ともに「どちらとも言えない」が約4割を占めている。

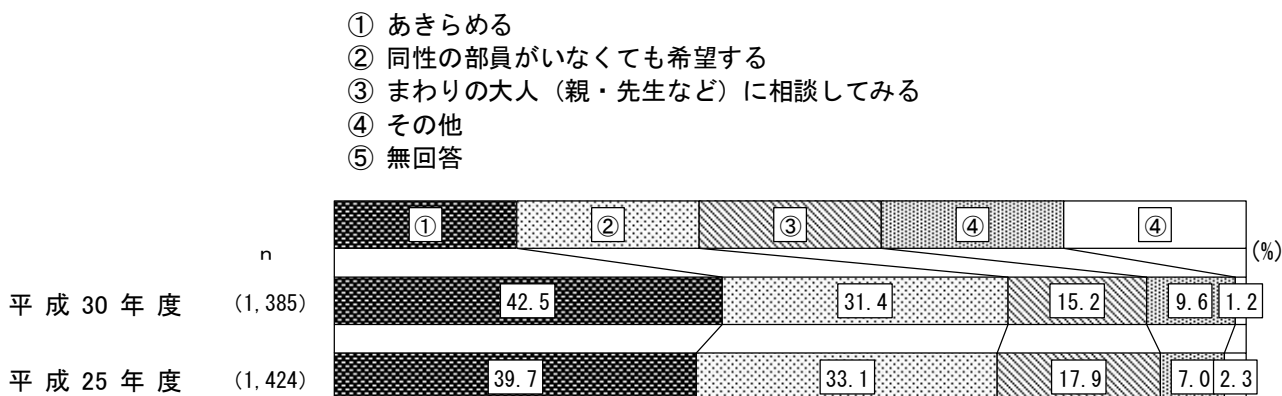
④ 部活動に同性の仲間がない場合の対処方法

問5 あなたが（男女で分かれていない）部活動に入りたいと思ったとき、同性の部員がない場合、どのような対応をしますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

入りたいと思う部活動に同性の仲間がない場合にするか聞いたところ、「あきらめる」(42.5%)が4割を超え、「同性の仲間がいなくても希望する」(31.4%)は3割を超え、「まわりの大人（親・先生など）に相談してみる」(15.2%)は1割半ばとなっている。

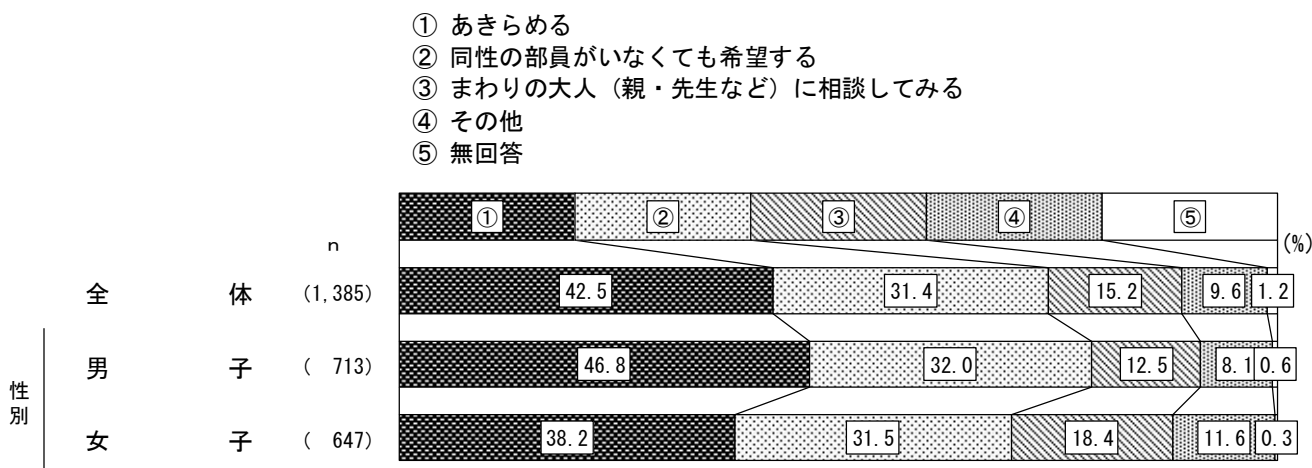
前回調査と比較すると、「あきらめる」は2.8ポイント増加している。

図表4-5-1 部活動に同性の仲間がない場合の対処方法一過年度比較



性別で見ると、「まわりの大人（親・先生など）に相談してみる」は女子が男子より5.9ポイント高くなっている。一方、「あきらめる」は男子が女子より8.6ポイント高くなっている。

図表4-5-2 部活動に同性の仲間がない場合の対処方法一性別



■女子が悩みを一人で抱え込まずに周囲に相談するのに対して、男子は入部を「あきらめる」場合が多いため、周囲からの声掛けが必要ではないかと考えられる。

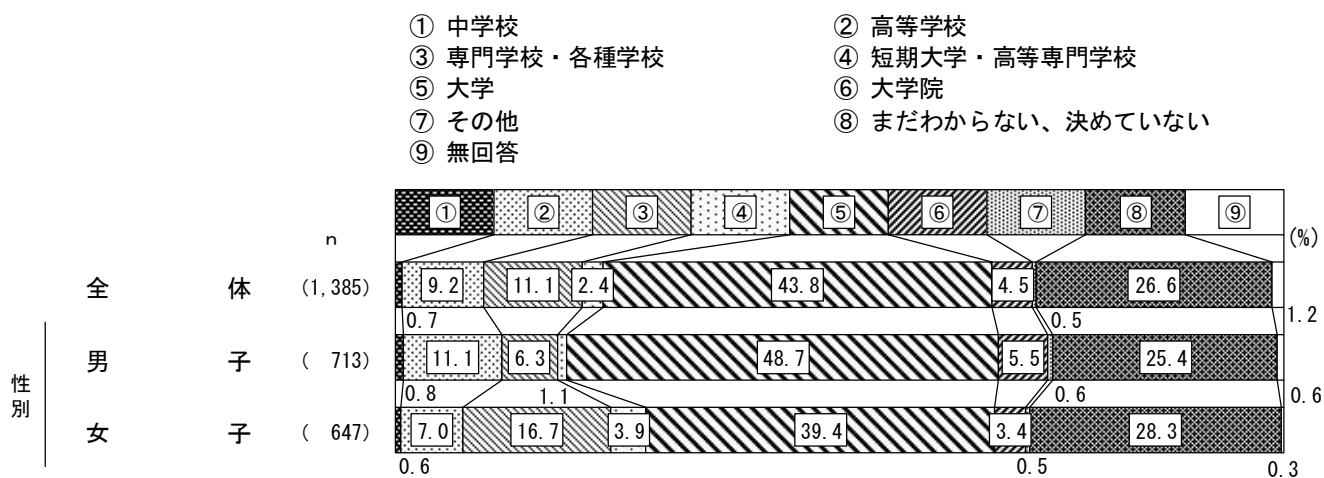
⑤ 最終的に卒業したい学校

問6 あなたが最終的に卒業したい学校について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

最終的に卒業したい学校について聞いたところ、「大学」(43.8%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「専門学校・各種学校」(11.1%)、「高等学校」(9.2%)、「大学院」(4.5%)などとなっている。

性別で見ると、「専門学校・各種学校」は女子が男子より10.4ポイント高くなっている。一方、「大学」は男子が女子より9.3ポイント高くなっている。

図表4-6-1 最終的に卒業したい学校-性別



■女子の方が男子よりも「専門学校・各種学校」と回答した割合が高いため、将来就きたい仕事を既に決めており、資格取得のために進学先を選択しているのではないかと考えられる。

(4) 男女共同参画について

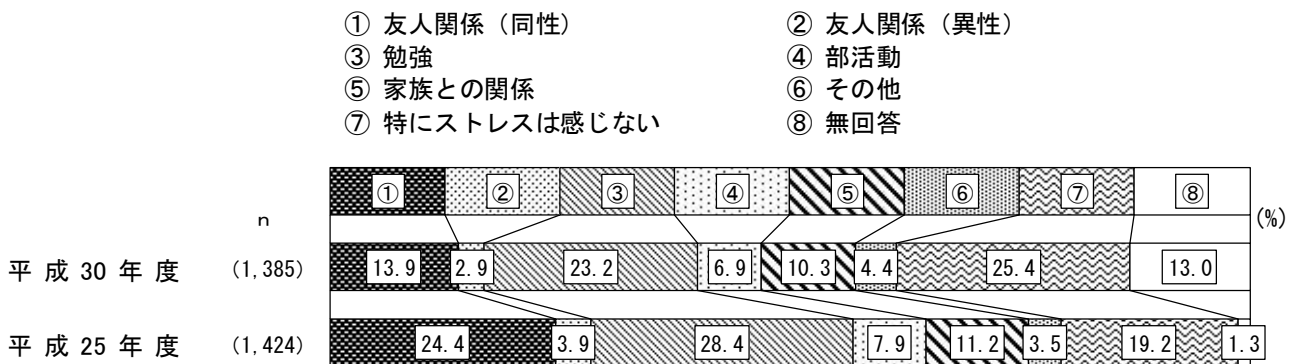
① ストレスを感じること

問7 あなたがストレスを最も感じることを1つ選び○をつけてください。

ストレスを感じることはどんなことについてか聞いたところ、「勉強」(23.2%)が2割を超え最も高く、次いで、「友人関係(同性)」(13.9%)、「家族との関係」(10.3%)などとなっている。一方、「特にストレスは感じない」(25.4%)は2割半ばとなっている。

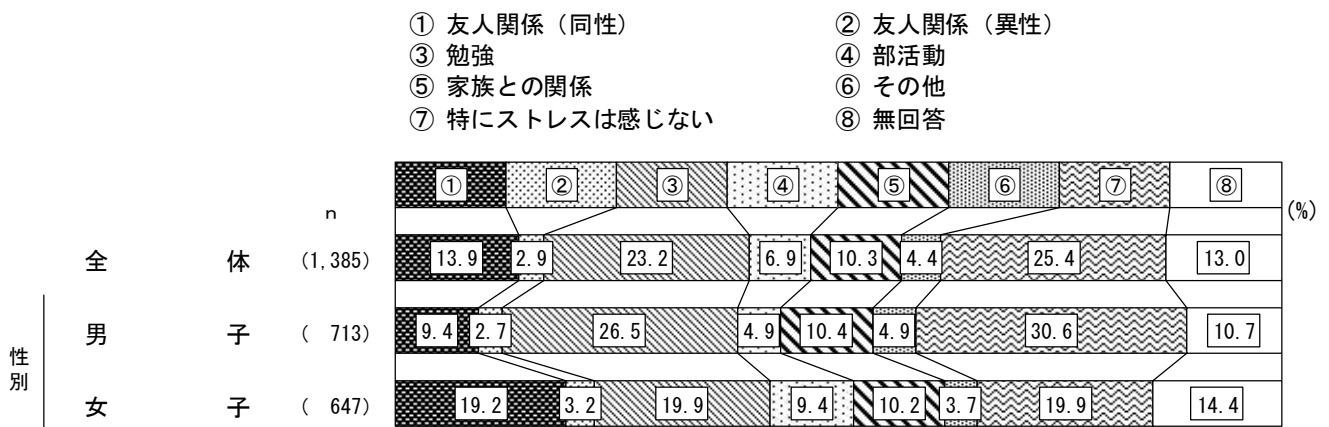
前回調査と比較すると、「友人関係(同性)」が10.5ポイント減少している。一方、「特にストレスは感じない」は6.2ポイント増加している。

図表4-7-1 ストレスを感じること一過年度比較



性別でみると、「友人関係(同性)」は女子が男子より9.8ポイント高くなっている。一方、男子が女子より「特にストレスは感じない」で10.7ポイント高く、「勉強」でも6.6ポイント高くなっている。

図表4-7-2 ストレスを感じること一性別



■女子の方が男子よりもストレスを感じていると回答した割合が高く、特に「友人関係(同性)」は男子に比べて顕著に高くなっている。

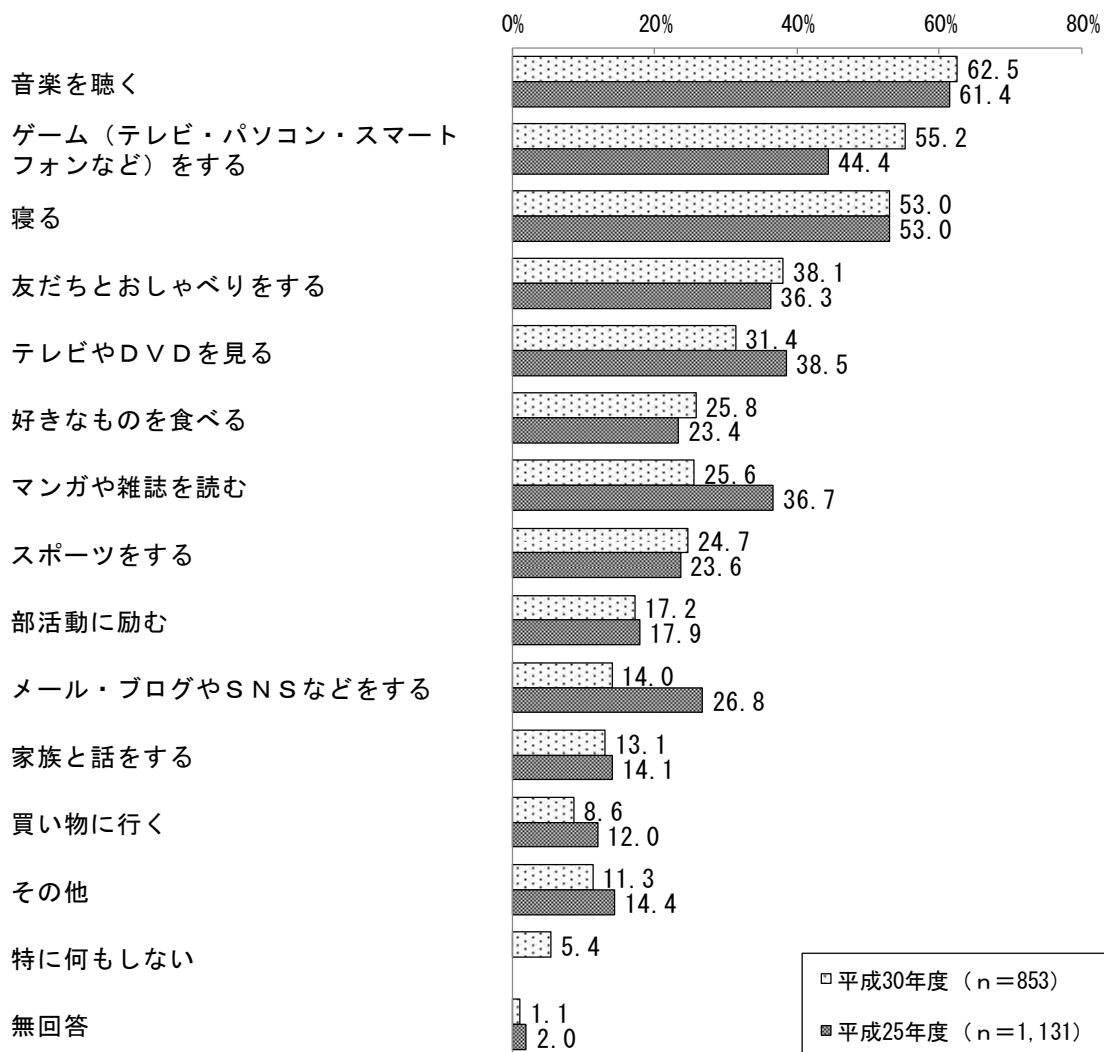
② ストレスを感じたときの過ごし方

問7-1 あなたはストレスを感じたとき、どのように過ごしますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

ストレスを感じたとき、どのように過ごすか聞いたところ、「音楽を聴く」(62.5%)が6割を超え最も高くなっている。次いで、「ゲーム(テレビ・パソコン・スマートフォンなど)をする」(55.2%)、「寝る」(53.0%)、「友だちとおしゃべりをする」(38.1%)、「テレビやDVDを見る」(31.4%)などとなっている。

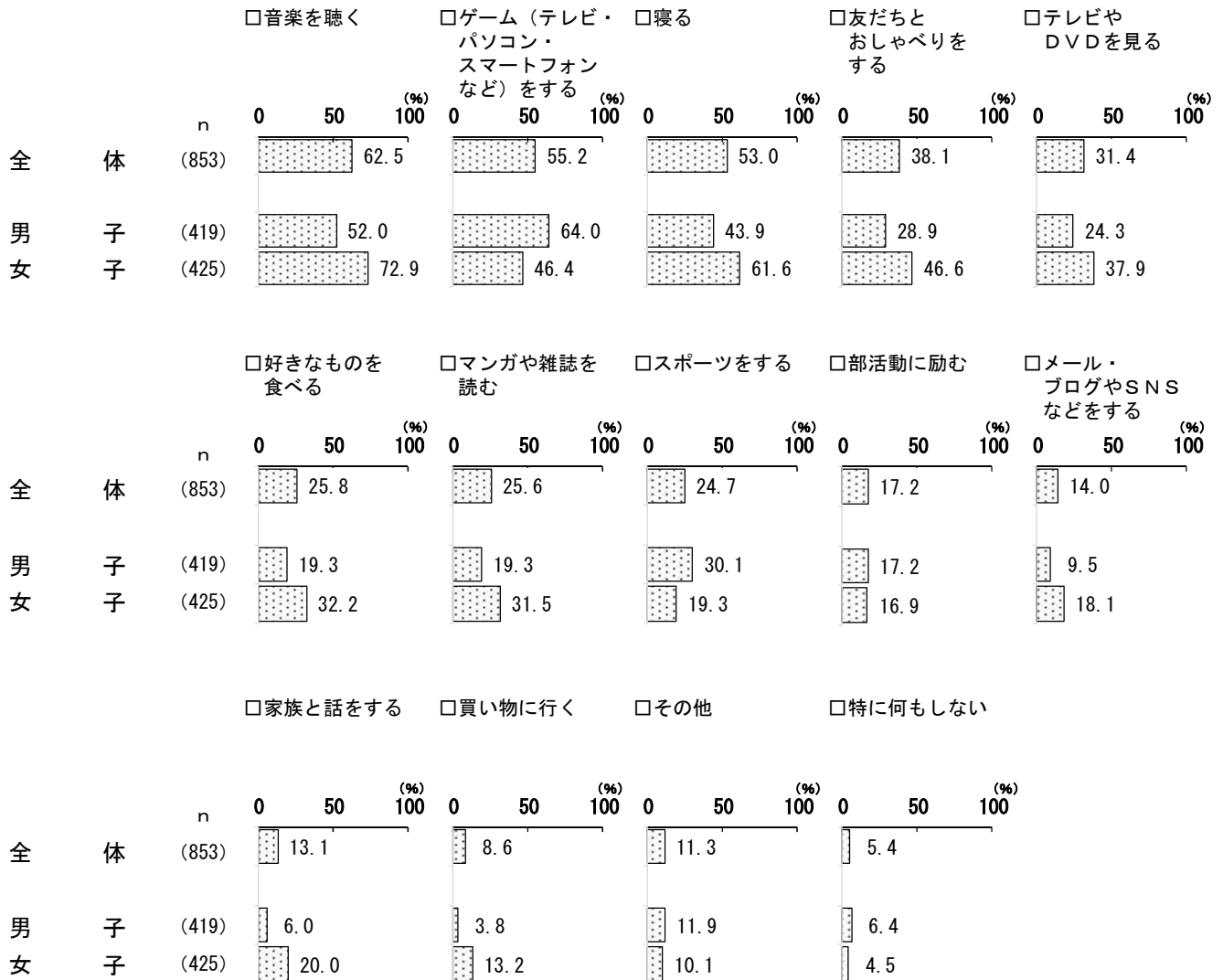
前回調査と比較すると、「メール・ブログやSNSなどをする」が12.8ポイント減少している。一方、「ゲーム(テレビ・パソコン・スマートフォンなど)をする」は10.8ポイント増加している。

図表4-7-1-1 ストレスを感じたときの過ごし方—過年度比較



性別で見ると、女子が男子より「音楽を聴く」でも20.9ポイント高くなっている。一方、男子が女子より「ゲーム（テレビ・パソコン・スマートフォンなど）をする」で17.6ポイント高くなっている。

図表4-7-1-2 ストレスを感じたときの過ごし方—性別



■男子はゲーム・スポーツ、女子は音楽・友だちとおしゃべりが多いなど、顕著な男女差がみられた。

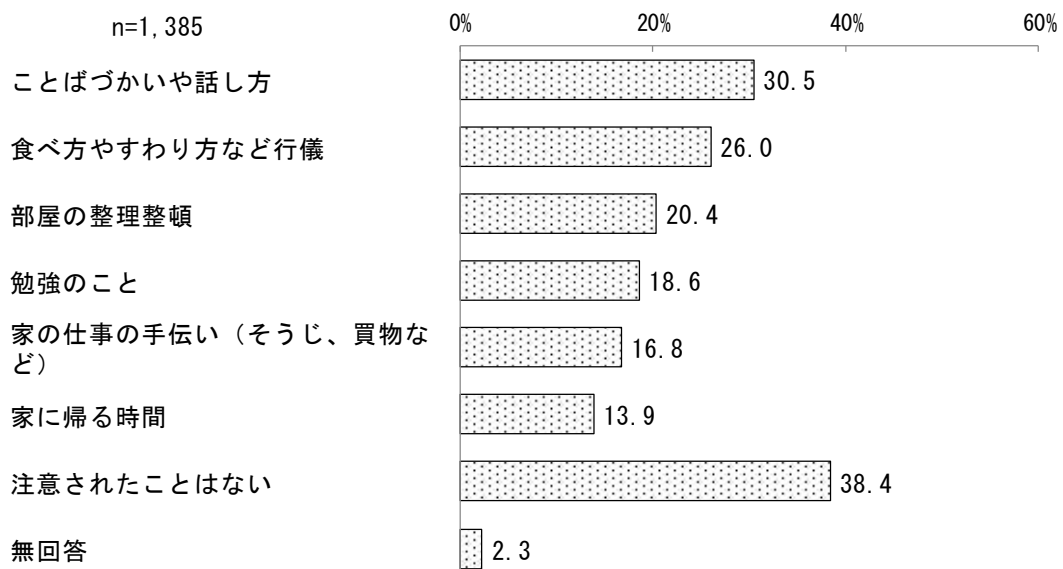
■女子の3位が「友だちとおしゃべりをする」だが、問7の結果から、女子のストレス要因の1位が「友人関係（同性）」でもあるため、友人関係が悪化するとストレス解消方法をも失ってしまう。友人関係が悪化した時に相談できる場所をつくるなどといった対策を考える必要がある。

③ 「男（女）だから〇〇しなさい」と注意された内容

問8 あなたは「男（女）だから〇〇しなさい」と注意されたことがありますか。どのようなことについて注意されたかあてはまる番号に3つまで○をつけてください。注意されたことがない場合は7に○をつけてください。

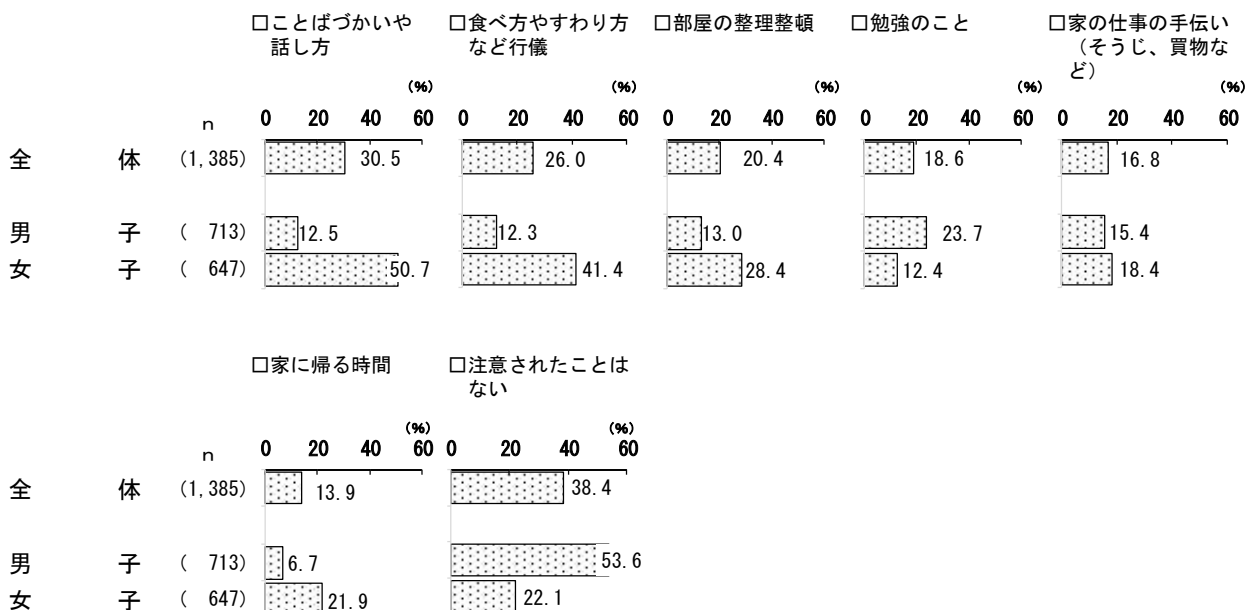
「男（女）だから〇〇しなさい」と注意されたことがあるか聞いたところ、「注意されたことはない」（38.4%）が4割近くと最も高くなっている。次いで、「ことばづかいや話し方」（30.5%）がほぼ3割、「食べ方やすわり方など行儀」（26.0%）が2割半ば、「部屋の整理整頓」（20.4%）が2割となっている。

図表4-8-1 「男（女）だから〇〇しなさい」と注意された内容



性別でみると、「ことばづかいや話し方」は女子が男子より38.2ポイント高く、「注意されたことはない」は男子が女子より31.5ポイント高くなっている。

図表4-8-2 「男(女)だから〇〇しなさい」と注意された内容—性別



- 何らかの注意を受けたと回答した男子は6.7~23.7%、女子は12.4~50.7%であり、「勉強のこと」以外の項目で女子の方が高い割合という、顕著な男女差がみられた。
- 「話し方」「行儀」で女子への注意が多いのは女性らしいふるまいを求める考え方から、「勉強のこと」で男子への注意が多いのは「男が稼ぐ」という考え方からなど、旧来の考え方に基づいて各性別に求められる役割に沿った行動をするような注意をしていることが推察される。

④ 言われた相手

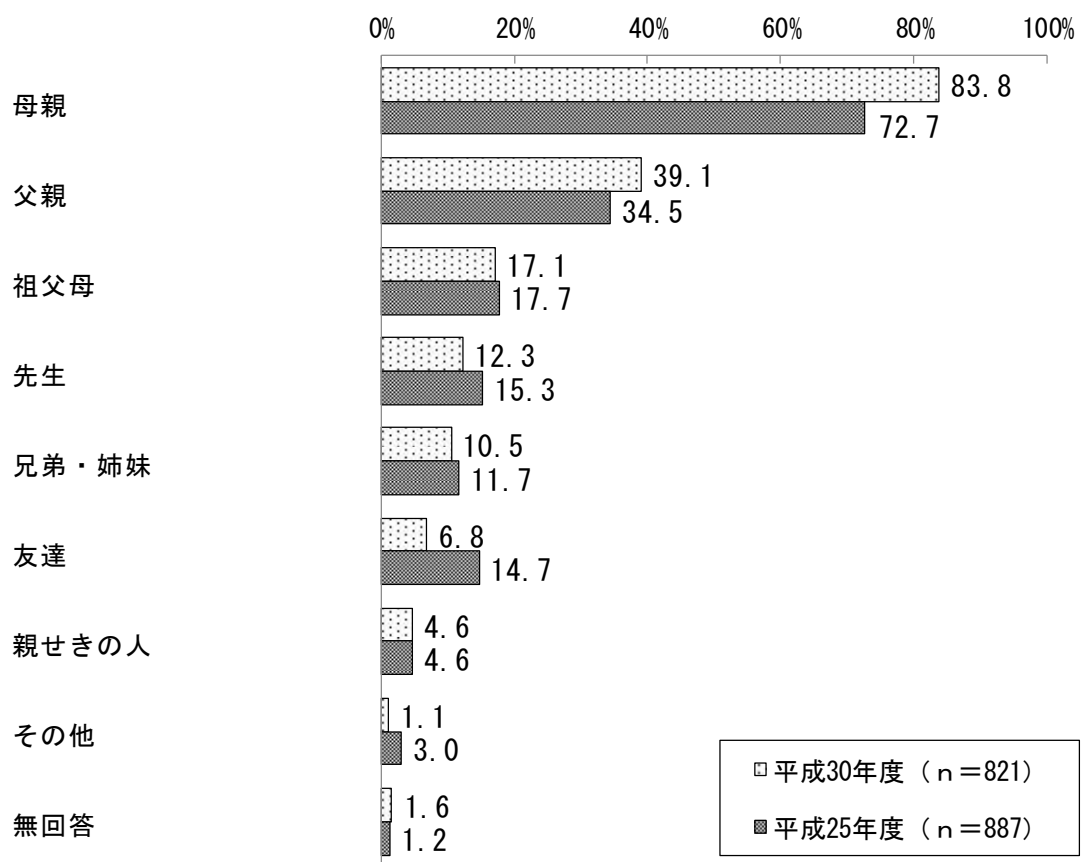
(問8で「1」から「6」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。)

問8-1 誰から言われましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

問8で、注意された項目がある方に、誰から言われたことがあるか聞いたところ、「母親」(83.8%)が8割を超え最も高くなっている。次いで、「父親」(39.1%)、「祖父母」(17.1%)、「先生」(12.3%)などとなっている。

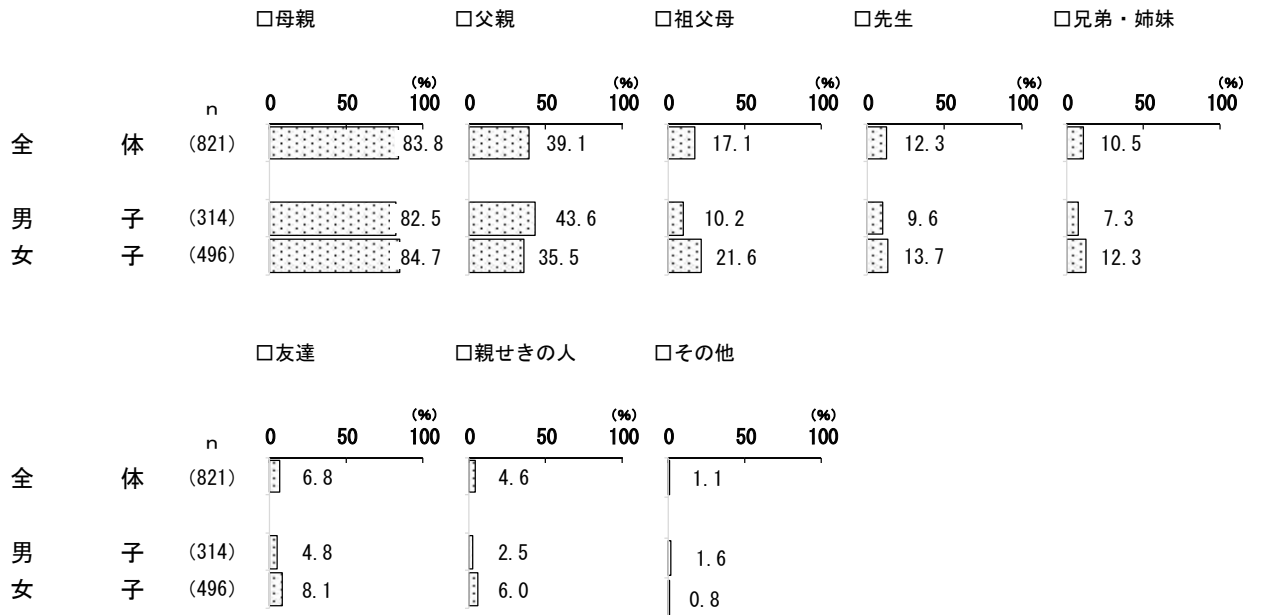
前回調査と比較すると、「母親」が11.1ポイント増加している。一方、「友達」は7.9ポイント減少している。

図表4-8-1-1 言われた相手



性別で見ると、「祖父母」は女子が男子より11.4ポイント高くなっている。一方、「父親」は男子が女子より8.1ポイント高くなっている。

図表 4-8-1-2 言われた相手—性別

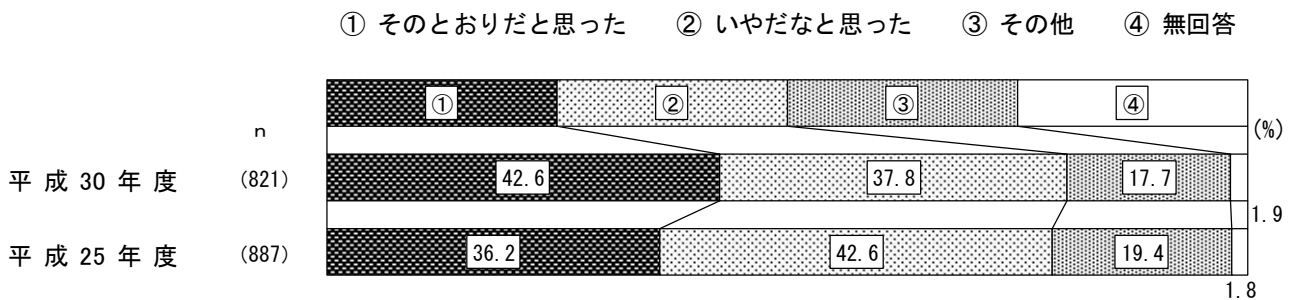


⑤ 言われたときに思ったこと

問8-2 問8-1で答えた人から注意されたとき、どのように思いましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

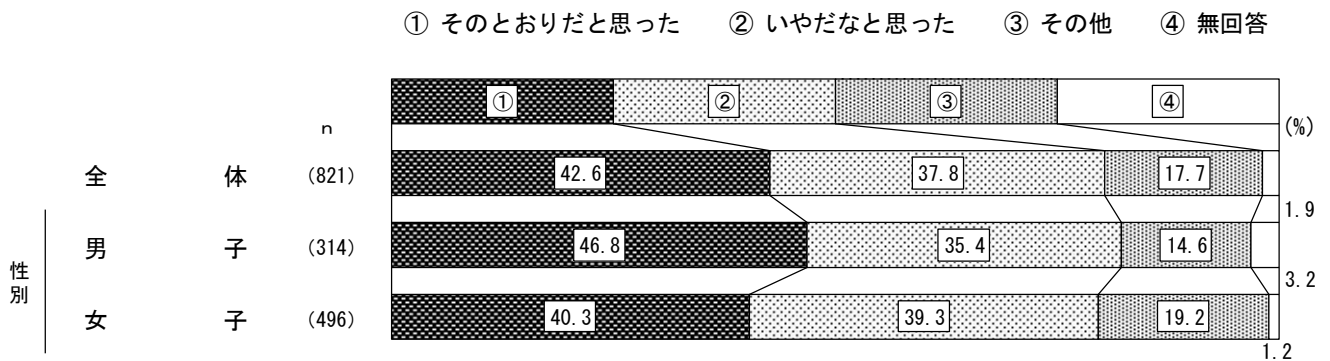
問8で、注意された項目がある方に、言われたときどのように思ったか聞いたところ、「そのとおりだと思った」(42.6%)は4割を超え、「いやだなと思った」(37.8%)が4割近くとなっている。前回調査と比較すると、「そのとおりだと思った」が6.4ポイント増加している。一方、「いやだなと思った」は4.8ポイント減少している。

図表4-8-2-1 言われたときに思ったこと—過年度比較



性別でみると、「そのとおりだと思った」は男子が女子より6.5ポイント高くなっている。

図表4-8-2-2 言われたときに思ったこと—性別



■ 「そのとおりだと思った」「いやだなと思った」の差異に着目すると、男子では「そのとおりだと思った」の方が約10ポイント高いのに対して、女子ではあまり差がみられない。

⑥ 将来就きたい職業

問9 あなたは将来、どのような職業につきたいと思っていますか。

将来、どのような職業につきたいと思っているかを自由に記入してもらい、それを“具体的な職業”と“職種・条件”の2種類で分類した。

“具体的な職業”を男女別でみると、男子では「プロスポーツ選手」(25.4%)が2割半ばと最も高く、次いで、「コンピューター・ゲーム関係の技術者」(7.0%)などとなっている。女子では「保育士・幼稚園の先生」(16.7%)が2割近くと最も高く、次いで、「医者・看護師・薬剤師」(14.4%)などとなっている。

図表4-9-1 将来就きたい職業【具体的な職業】(上位10項目) - 性別

順位	男子 (n=228)		順位	女子 (n=306)	
1	プロスポーツ選手	25.4%	1	保育士・幼稚園の先生	16.7%
2	コンピューター・ゲーム関係の技術者	7.0%	2	医者・看護師・薬剤師など	14.4%
3	調理師・栄養士・お菓子職人	5.7%	3	調理師・栄養士・お菓子職人	5.6%
4	会社員	5.3%	4	イラストレーター・漫画家	5.2%
5	研究者・学者	4.8%	5	動物関係	4.9%
6	公務員	4.4%		美容師・理容師	4.9%
	動物関係	3.5%	7	学校の先生	4.2%
7	学校の先生	3.5%		プロスポーツ選手	3.3%
	監督・コーチ・スポーツトレーナー	3.5%	8	デザイン関係	3.3%
	保育士・幼稚園の先生	3.1%		歌手・タレントなどの芸能人	3.3%
10	警察官・消防士・自衛官	3.1%			

“職種・条件”を男女別で見ると、男子では「スポーツ関係の仕事」(21.2%)が2割を超え最も高く、次いで、「人の役に立つ仕事」(11.5%)などとなっている。女子では「人の役に立つ仕事」(13.0%)が1割を超え最も高く、次いで、「国際的な仕事」、「音楽関係の仕事」(ともに8.9%)などとなっている。

図表4-9-2 将来就きたい職業【職種・条件】(上位10項目) - 性別

順位		男子 (n=104)		順位		女子 (n=123)	
1	スポーツ関係の仕事	21.2%		1	人の役に立つ仕事	13.0%	
2	人の役に立つ仕事	11.5%		2	国際的な仕事	8.9%	
3	鉄道関係の仕事	5.8%		2	音楽関係の仕事	8.9%	
4	給料のいい仕事	4.8%		4	美容関係の仕事	6.5%	
5	国際的な仕事	3.8%		5	安定した仕事	4.9%	
	安定した仕事	3.8%			医療・介護・福祉関係の仕事	4.9%	
	ものづくり関係の仕事	3.8%			アパレル関係の仕事	4.9%	
	IT関係の仕事	3.8%			子どもに関わる仕事	4.9%	
9	自分に合う仕事	2.9%		9	芸能・テレビ関係の仕事	4.1%	
	建築関係の仕事	2.9%			食品・料理関係の仕事	4.1%	

⑦ 「女性」と「仕事」との関係についての考え

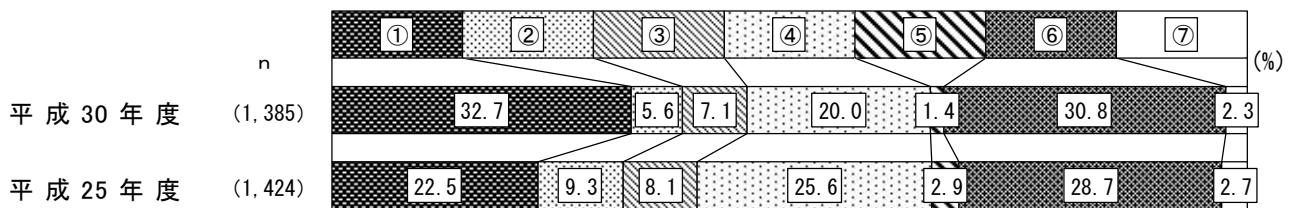
問10 あなたは「女性」と「仕事」との関係についてどう考えますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

女性と仕事の関係についてどう考えるか聞いたところ、「結婚したり子どもができて、ずっと仕事を続ける」(32.7%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったらまた仕事をする」(20.0%)、「子どもができるまでは仕事を続ける」(7.1%)などとなっている。

前回調査と比較すると、「結婚したり子どもができて、ずっと仕事を続ける」は10.2ポイント増加している。

図表4-10-1 「女性」と「仕事」との関係についての考え—過年度比較

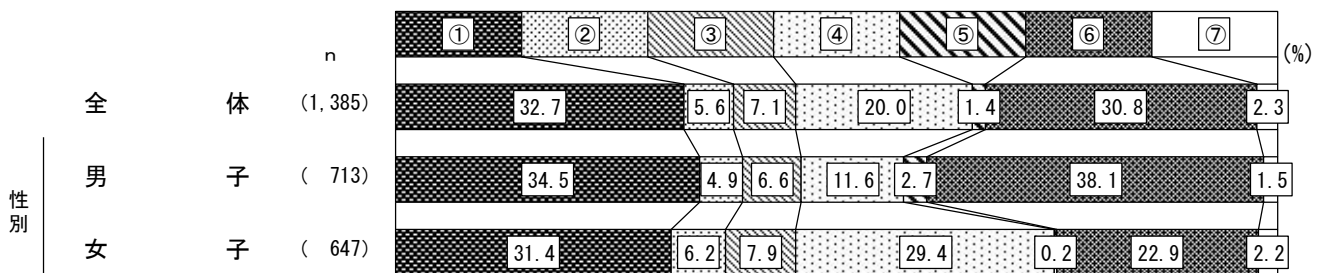
- ① 結婚したり子どもができて、ずっと仕事を続ける
- ② 結婚するまでは仕事をして、結婚したらやめる
- ③ 子どもができるまでは仕事を続ける
- ④ 子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったらまた仕事をする
- ⑤ 女性は仕事をもたないほうがよい
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答



性別でみると、女子が男子より「子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったらまた仕事をする」で17.8ポイント高くなっている。

図表4-10-2 「女性」と「仕事」との関係についての考え—性別

- ① 結婚したり子どもができて、ずっと仕事を続ける
- ② 結婚するまでは仕事をして、結婚したらやめる
- ③ 子どもができるまでは仕事を続ける
- ④ 子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったらまた仕事をする
- ⑤ 女性は仕事をもたないほうがよい
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答



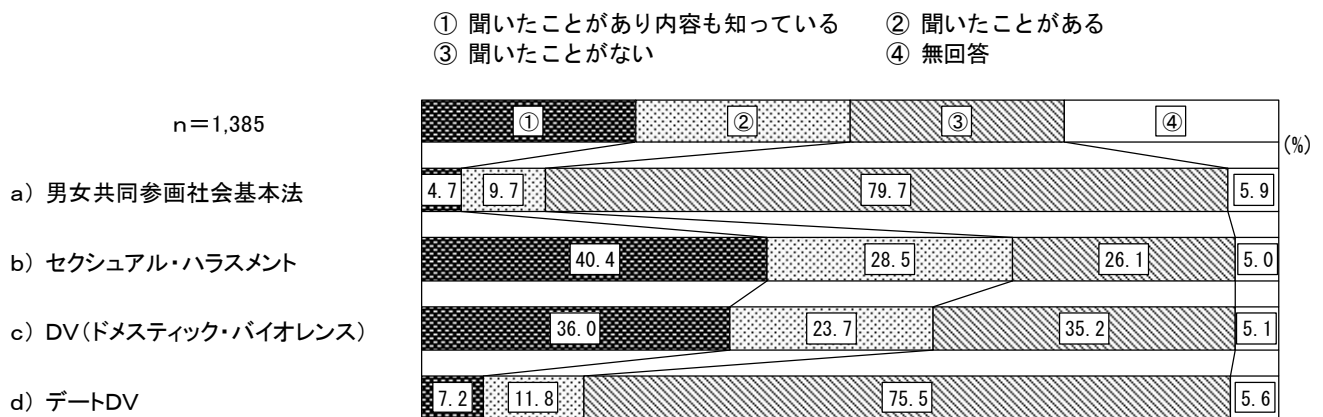
■「結婚したり子どもができて、ずっと仕事を続ける」と回答した割合の男女差がほぼなくなっており、女子の意識が変化していることが伺える。

⑧ 男女共同参画に関する言葉の認知度

問 1 1 男女共同参画に関する以下のような言葉について、これまで聞いたことがありますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください

男女共同参画に関することばを知っていたか聞いたところ、「聞いたことがあり内容も知っている」の割合が最も高いのは“b セクシュアル・ハラスメント” (40.4%) で4割、“c DV (ドメスティック・バイオレンス)” (36.0%) で3割半ばとなっている。

図表 4-11-1 男女共同参画に関する言葉の認知度

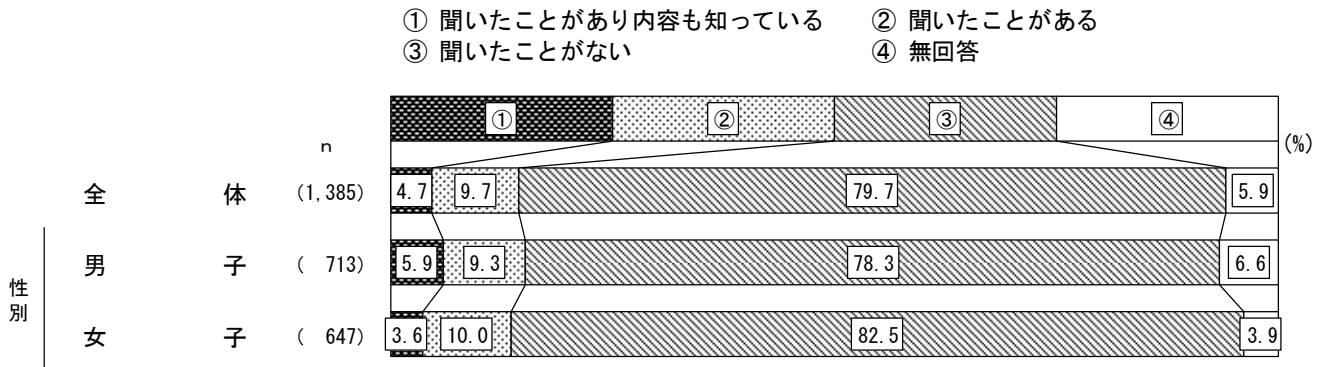


【a 男女共同参画社会基本法】

「男女共同参画社会基本法」ということばを知っていたか聞いたところ、「聞いたことがない」(79.7%)が8割と最も高くなっている。

性別で見ると、大きな違いはみられない。

図表 4-11-2 男女共同参画に関する言葉の認知度 (a) - 性別

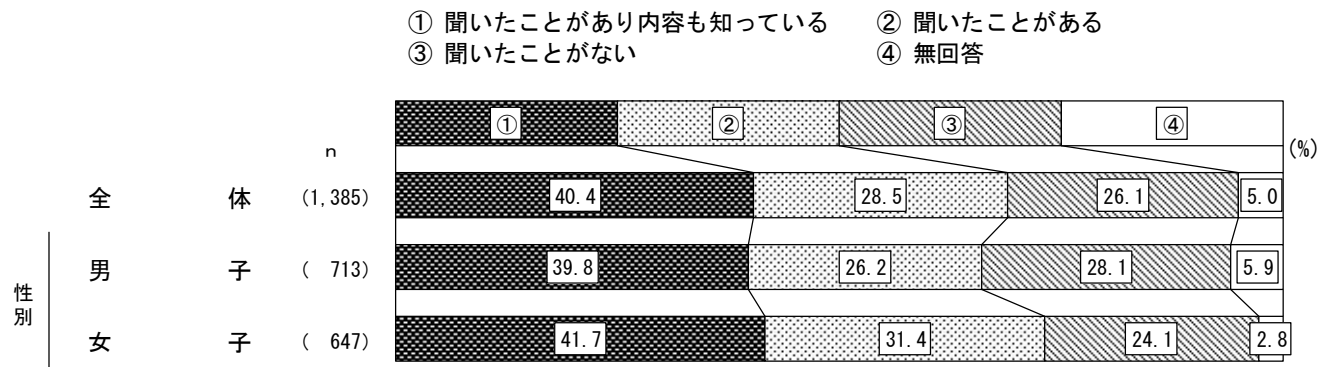


【b セクシュアル・ハラスメント】

「セクシュアル・ハラスメント」ということばを知っていたか聞いたところ、「聞いたことがあり内容も知っている」(40.4%)が4割と最も高く、「聞いたことがある」(28.5%)は3割近くとなっている。

性別で見ると、「聞いたことがある」で女子が男子より5.2ポイント高くなっている。

図表 4-11-3 男女共同参画に関する言葉の認知度 (b) - 性別



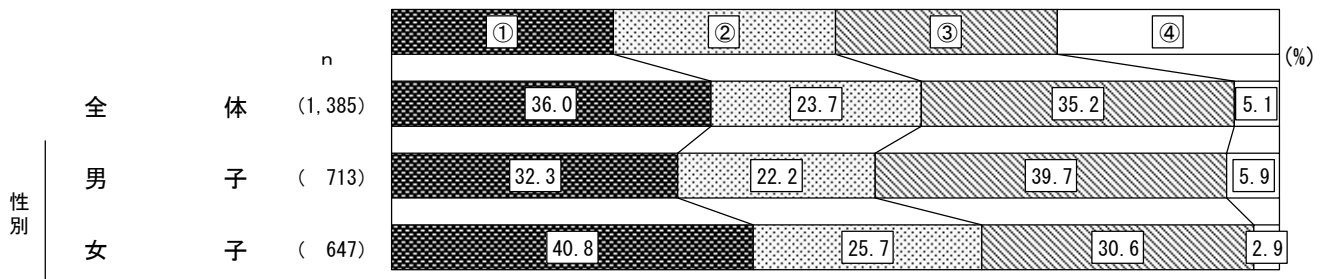
【c DV（ドメスティック・バイオレンス）】

「DV（ドメスティック・バイオレンス）」ということばを知っていたか聞いたところ、「聞いたことがあり内容も知っている」（36.0%）が3割半ばと最も高く、「聞いたことがある」（23.7%）は2割を超えている。

性別で見ると、「聞いたことがない」で男子が女子より9.1ポイント高くなっている。

図表4-11-4 男女共同参画に関する言葉の認知度（c）-性別

- ① 聞いたことがあり内容も知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 聞いたことがない
- ④ 無回答



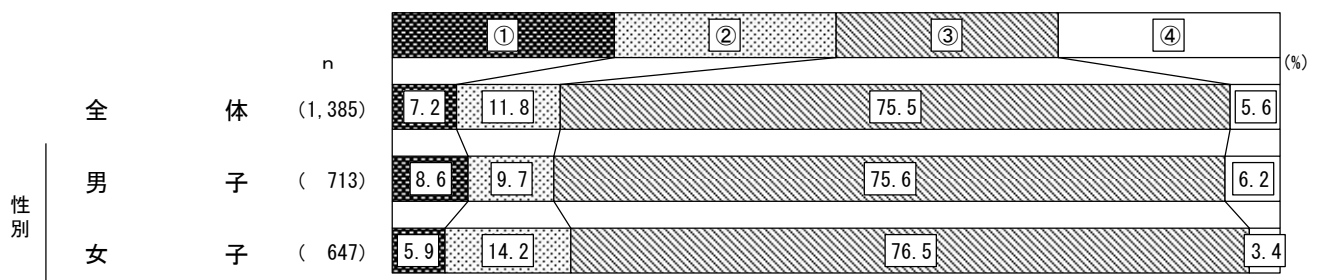
【d デートDV】

「デートDV」ということばを知っていたか聞いたところ、「聞いたことがない」（75.5%）が7割半ばと最も高くなっている。

性別で見ると、「聞いたことがある」で女子が男子より4.5ポイント高くなっている。

図表4-11-5 男女共同参画に関する言葉の認知度（d）-性別

- ① 聞いたことがあり内容も知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 聞いたことがない
- ④ 無回答



■女子の方が男子よりも「セクシュアル・ハラスメント」「DV」の認知度が高く、身近な問題として考えていることが伺える。

■「男女共同参画社会基本法」の認知度は性別問わず低い割合となっているため、学生に向けての啓発活動を行うなどといった働きかけが必要であると考えられる。